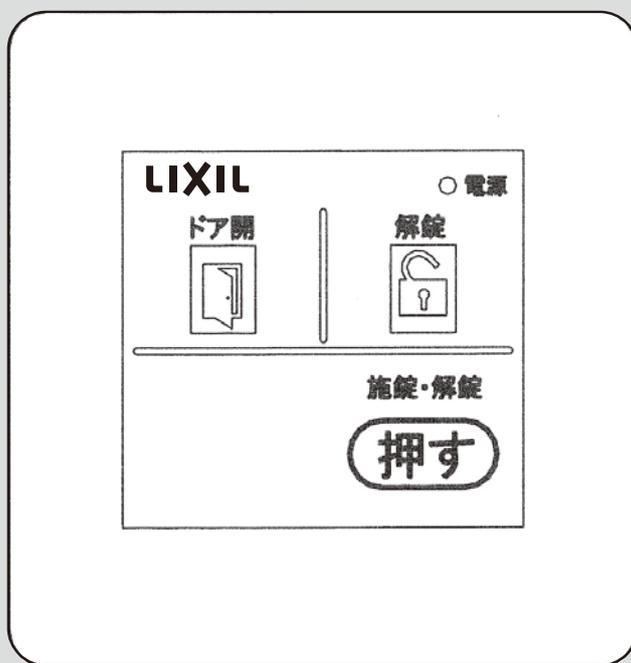


玄関戸用電気錠 システムベーシック

取付け説明書



取付けにあたって

- 本製品には消費者の皆さまに安全な製品をお届けする意味で、重要な取付けに関する説明書が付いております。当製品の取付け前に、必ず説明書を読み十分理解したうえで取付けを行ってください。
- 説明書に従わなかった場合、重大な事故に結びつくことがあります。

目次

■取付けされる方へのお願い	1
■リモコンシステム概要	2
■施工手順とお願い	3
■枠タイプ別配線引出し位置	4~5
■配線引出し部 木加工	6~7
■点検ボックスへの引出し方法	8
■使用部品一覧	9
■接続方法	10~11
■取付け方法	12~14
■施工後の確認	16~17
■作動の確認	18~20
■こんな場合には	21~22
■調整方法	23
■外観寸法図	24~25
■定格	26
■配線色別信号内容	27~28

取付けされる方へのお願い

●本説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 警告

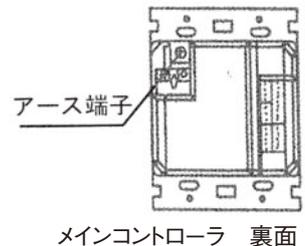
- チャイム線など既設の配線には交流 100V が通電されている場合があります。その配線を利用すると機器の破損および感電の原因となります。
- 開口部から内部に金属類を差込んだり落としたりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 機器に液体（水、ジュース、薬品など）が入ったり、ぬらさないようにしてください。火災、感電の原因となります。
- 機器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。
- 電源を入れる前に、誤配線、ショート等がないことを確認してください。火災、感電の原因となることがあります。
- 傷ついた電源コードは使用しないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。

▲ 注意

- 振動、衝撃の多い場所におかないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

■取付け上のおお願い

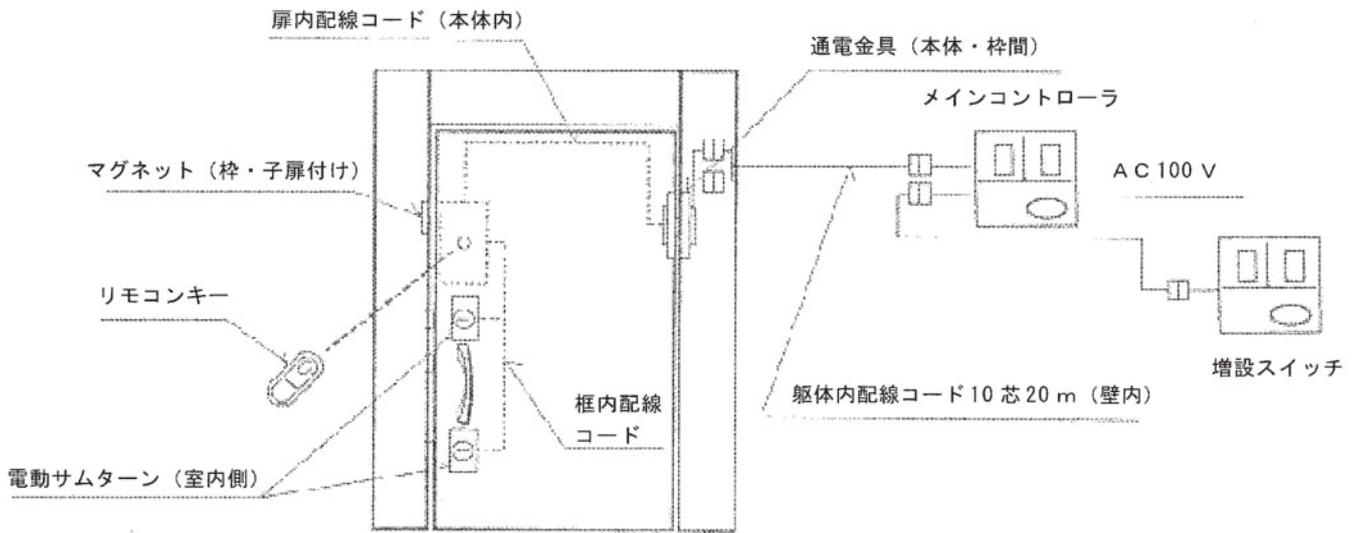
- 電源を入れた状態で配線、取付け、結線をししないでください。故障の原因となることがあります。
- メインコントローラのアース端子には、必ずアース（D 種接地）工事を行ってください。アース（D 種接地）工事がされていない場合、外部からの過電圧で機器が破損したり、外部および機器間のノイズにより誤動作の原因となります。
- このシステムには、電源線が直結式の製品が含まれています。結線工事は必ず電気工事士免許取得者の方が行ってください。
- 次の場所での設置は避けてください。故障の原因となることがあります。
 - ・暖房機器およびボイラー等の火気の近くなど温度が上昇するところ
 - ・冷凍倉庫内、クーラーの正面などの温度が低いところ
 - ・鉄粉、ほこり、油、薬品、硫化水素（温泉地）などがかかるおそれのあるところ
 - ・浴室、地下室、温室などの湿度の高いところ
- コネクタは『カチッ』という手ごたえがあるまでしっかり差し込んでください。差込みが浅いと動作不良の原因となります。



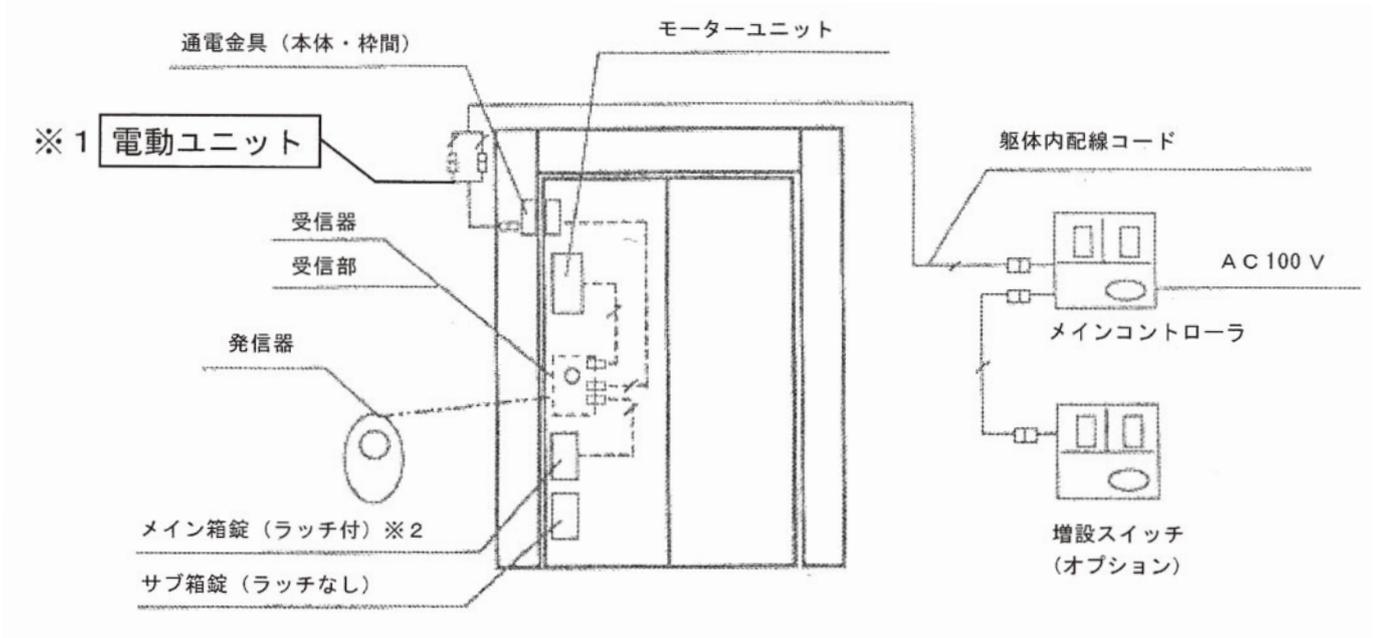
リモコンシステム概要

システム全体の名称

●玄関ドアの場合



●玄関引戸の場合



※1 電動引戸の場合のみ

電動ユニットの接続は寺岡オートドア(株)にて責任施工となります。

※2 電動引戸の場合はラッチなしとなります。

施工手順とお願い

電気錠付玄関戸は従来の玄関戸とは異なります。先にご留意点を申し上げます。

1. 枠、本体、戸扉、袖は、電気錠付専用になっているかご確認ください。
2. 電気錠配線工事は、内装工事をする前に必ず、電気工事店様にご依頼ください。
 - ・玄関戸から各機器までの配線は、躯体の中を通ることになりますので、内装を仕上げる前に配線工事、埋込みボックスの取付けが必要となります。
 - ・電動引戸の場合、電動ユニットの施工について寺岡オートドア（株）との打ち合わせが必要になります。また、電動ユニットまでの電源配線が必要になります。
3. お施主さま、建築設計者さまと必ず打ち合わせをしてください。
 - ・躯体内配線のため、内装工事終了後の変更は難しくなります。
 - ・システム系統図、配線図を作成し、メインコントローラや増設スイッチの設置したい場所を決めてください。

設計・施工工程モデル

建築工程（在来工法）	電気錠システム施工工程
お施主さまとの打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・システム設置場所の決定 ・システム系統図の作成…………… 各機器の最大接続距離は P.26 を参照ください。
↓	
建築設計	<ul style="list-style-type: none"> ・システム配線図の作成
↓	
サッシ取付け	<ul style="list-style-type: none"> ・システム用玄関戸の取付け…………… 接続コード（基本セット同梱）を電気工事店さまにお渡しください。 ・玄関戸枠まわりの配線用木加工…………… P.6～7を参照ください。
↓	
電気配線工事	<ul style="list-style-type: none"> ・電気配線工事…………… 接続コードはコネクタ付でオス、メスの区別があります。接続コードの端に付いているラベルに従って配線してください。逆に配線すると接続できません。 （・点検ボックスの取付け）…………… 枠のタイプにより取付けをおすすめします。P.8を参照ください。
↓	
現地調査	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査…………… 電動引戸の場合、配線の確認、電源スイッチが取付けられているかを確認してください。
↓	
内装工事	
↓	
電気器具の取付け	<ul style="list-style-type: none"> ・各機器の取付け…………… P.12～14をご覧ください。 ・結線…………… P.10～11をご覧ください。
↓	
自動用工事	<ul style="list-style-type: none"> ・自動用工事…………… 電動ユニットは寺岡オートドア（株）にて責任取付けになります。
↓	
竣工	<ul style="list-style-type: none"> ・動作確認…………… P.16～20 施工後の動作確認に従って確認してください。

枠タイプ別配線引出し位置

1

玄関ドアの場合

玄関 ド ア	タイプ A (吊元側縦枠からの引出し)				
	30 (ランマ付)	45 親子 (ランマ付)	45 片袖 (ランマ付)	60 両開 (ランマ付)	45 通し袖ランマ付
	タイプ B (袖パネル縦枠からの引出し)			タイプ C (方立からの引出し)	
	60 片袖親子	60 両袖無目止まり		60 通し袖	

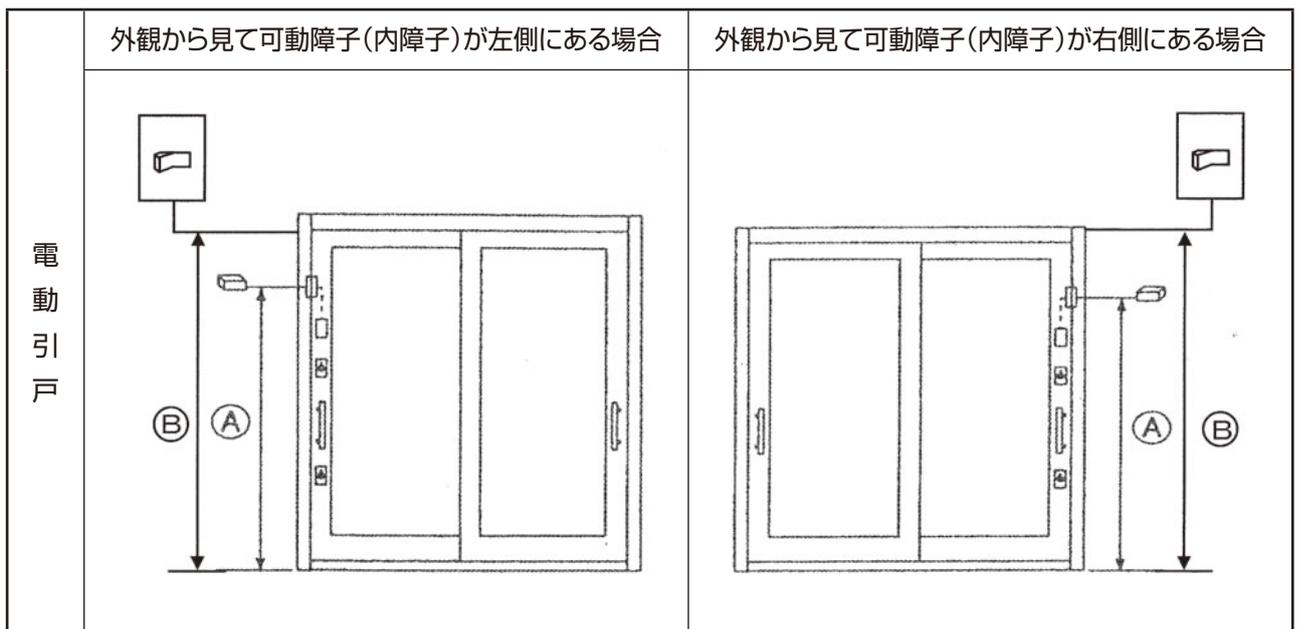
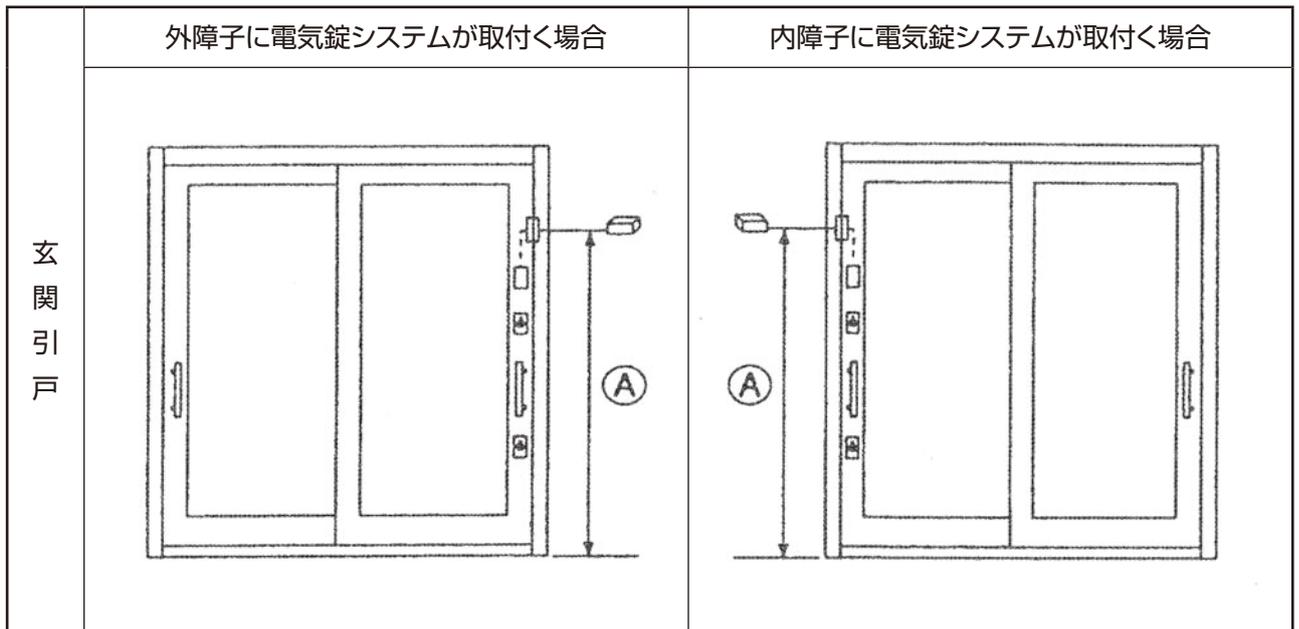
※①、②、③は、枠基本寸法端部からの寸法で表記してあります。

配線引出し位置寸法表

商品名		寸法	①	②	③
			①	②	③
レグナム・ポルト NX・アンビィ TX			1,863	1,863	—
プレナスII プレナスII断熱タイプ ボイーズII アルバーロ アスティ	断熱枠	H23・H20 (ランマ付)	1,622	—	—
		60 片袖親子	—	—	372.5
		60 両袖通し袖	—	—	372.5
		60 両袖無目止り	—	2,014	—
	非断熱枠	H23・H20 (ランマ付)	1,622	—	—
		45 両袖通し袖	—	—	189
		60 両袖通し袖	—	—	415
		60 両袖通し袖 (入隅)	—	—	364
	60 片袖親子	—	—	415	

2

玄関引戸の場合



配線引出し位置寸法表

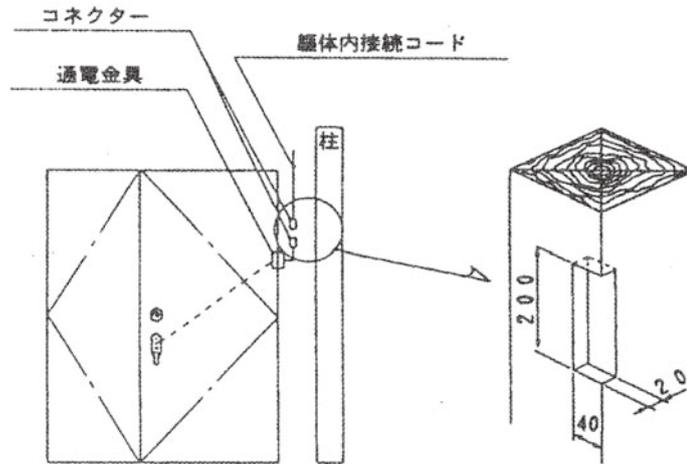
寸法		Ⓐ	Ⓑ
断熱玄関引戸 K3・K4 シリーズ	エルミナ	1,650	2,300 (特注時：H-57) H：基準寸法
	一番町		
	花伝		
	光悦		
	やまと		

配線引出し部 木加工

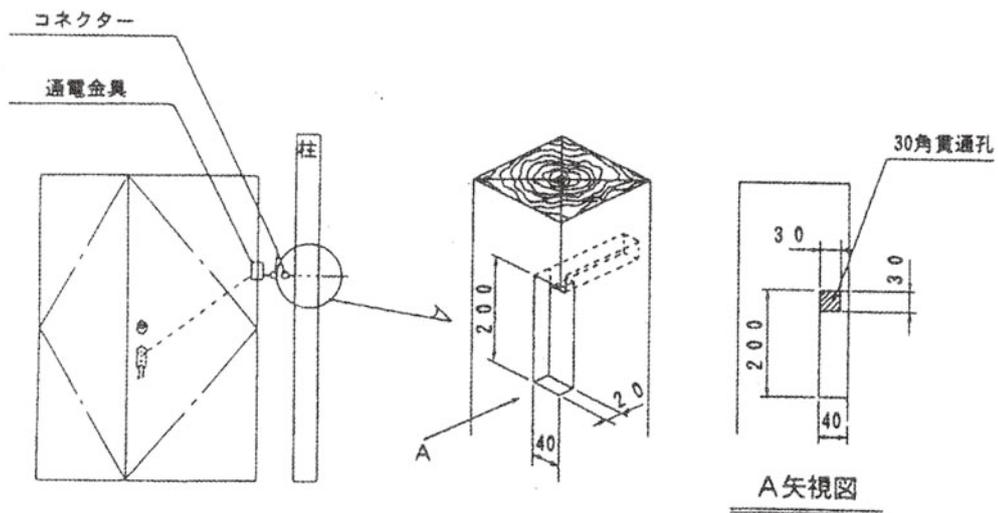
1

玄関ドアの場合

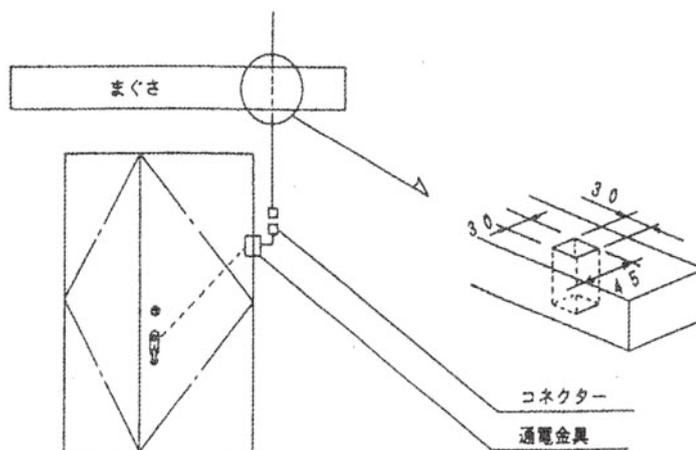
①吊元側縦枠から上枠側へコードを通線する場合



②吊元側縦枠から柱を貫通し、コードを通線する場合



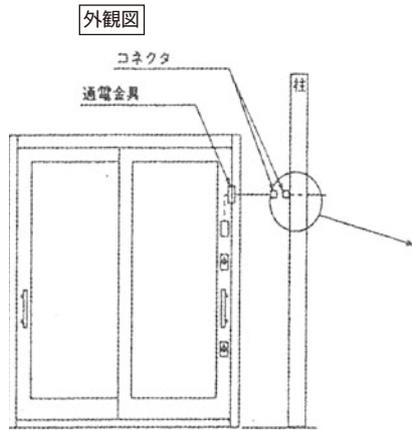
③上枠からまぐさを貫通しコードを通線する場合



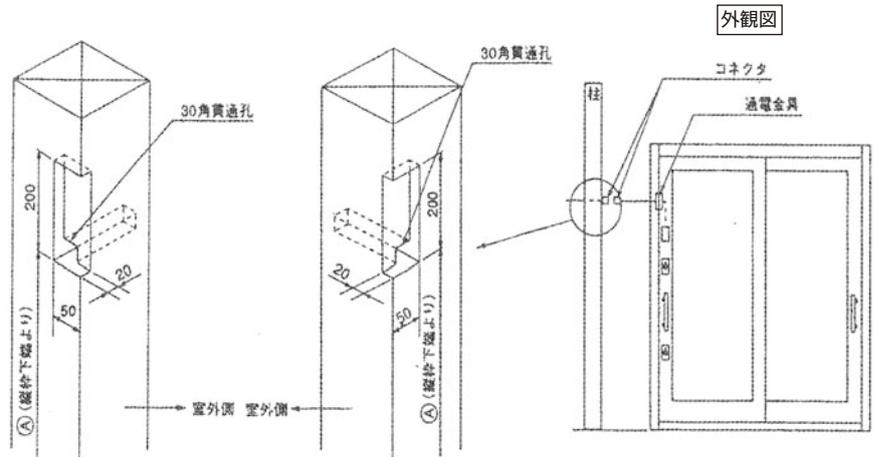
3

玄関引戸の場合

①外障子に通電金具がある場合



②内障子に通電金具がある場合

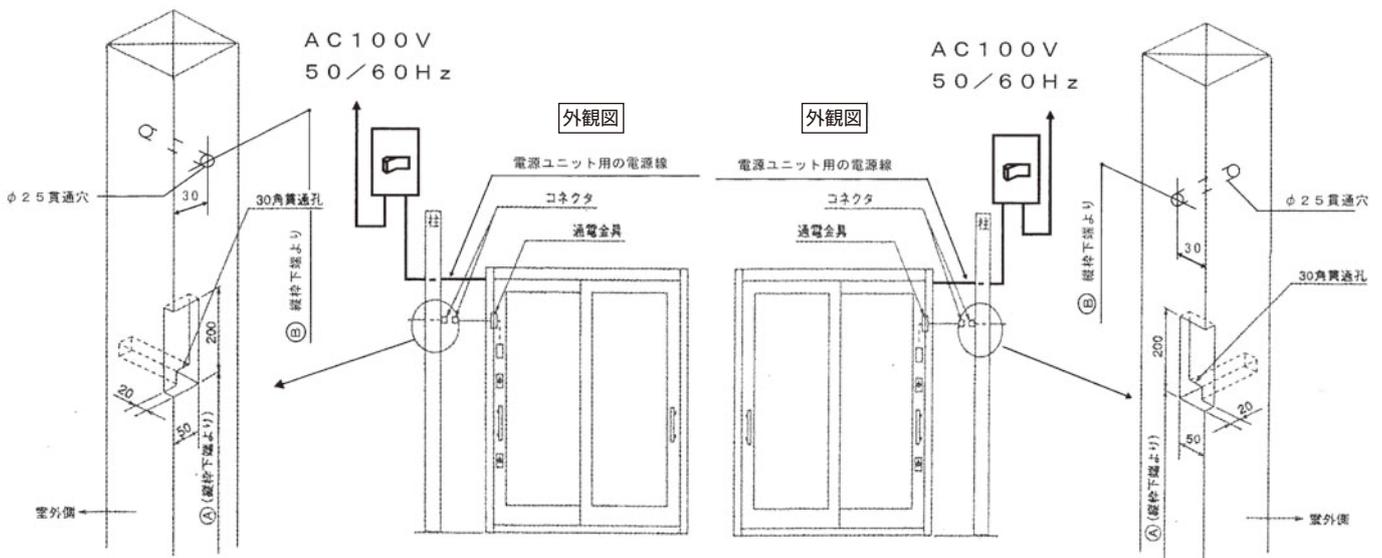


4

電動引戸の場合

①外観から見て、可動障子（内障子）が左側にある場合

②外観から見て、可動障子（内障子）が右側にある場合



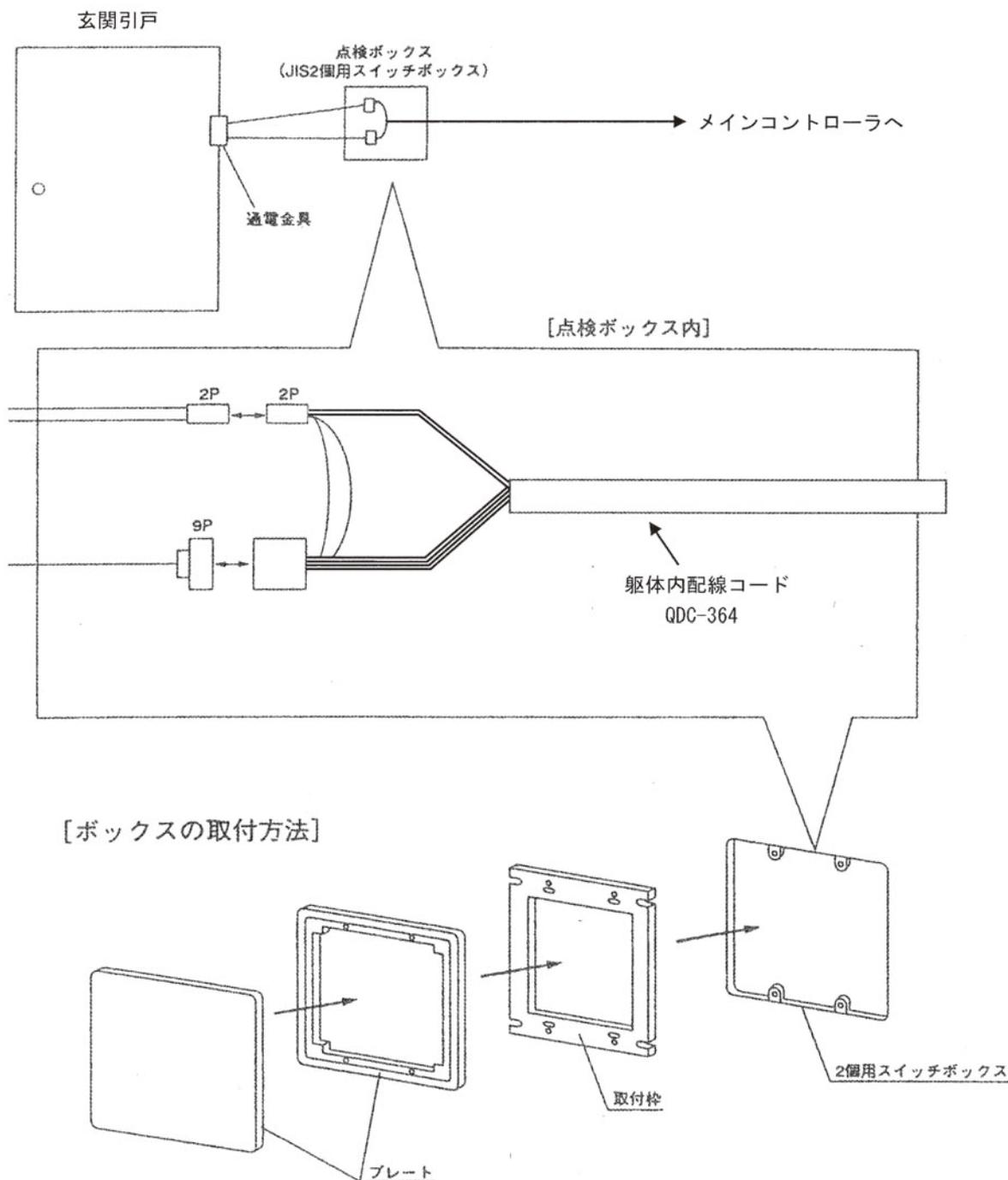
点検ボックスへの引出し方法

※玄関引戸のみ点検ボックスの取付けが必要です。下記に従って取付けてください。
P.10～11 に従い結線してください。

1

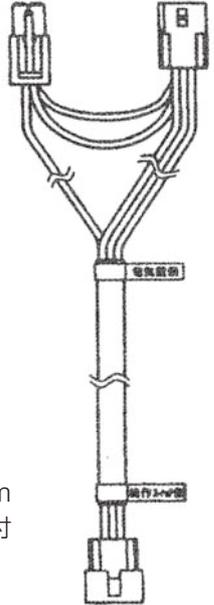
点検ボックスの取付け

※施工後のメンテナンスを容易にするために必要です。事前に工事店さまと打ち合わせて設置してください。
※JIS2個用スイッチボックス（現場手配）



使用部品一覧

玄関ドア・引戸共通

メインコントローラ	躯体内配線コード	取付け説明書／取扱い説明書
 <p>・本体 ・フルカラープレート1セット ・サラねじM4×25×4本 ・丸木ねじφ4.1×16×4本</p>	 <p>・10芯20m ・コネクタ付 ・1本</p>	

●オプション（別売）で次の商品が用意されております。

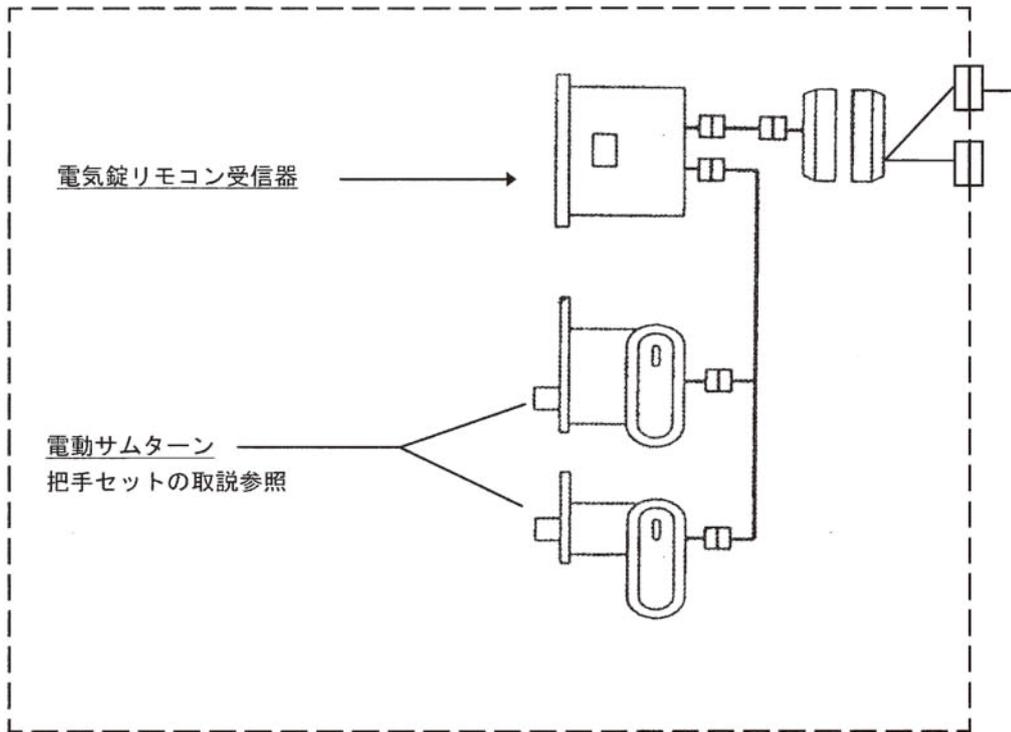
ご希望の場合は、最寄りのLIXIL営業所へお問い合わせください。

1. 増設スイッチセット (B-DASZ751) …………… 2台まで増設できます。
2. 延長コード (QDC-592) …………… メインコントローラ ←————→ 電気錠付玄関戸間の延長用
3. 増設用コード (QDC-365) …………… メインコントローラ ←————→ 増設スイッチ間の延長用

接続方法

1

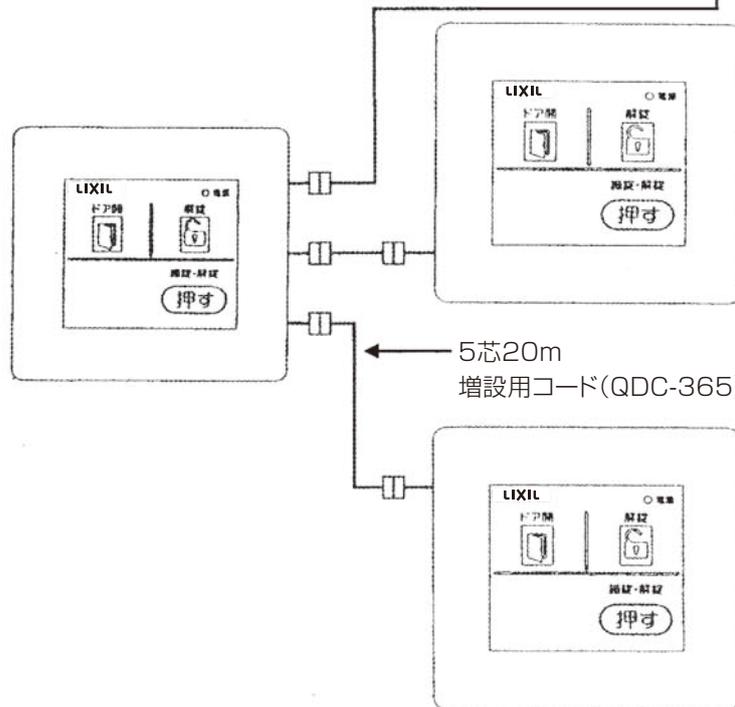
玄関ドアの場合



※玄関ドアの場合、
通電金具は、枠に同梱
されています。

← 10芯20m
躯体内配線コード
(QDC-364)

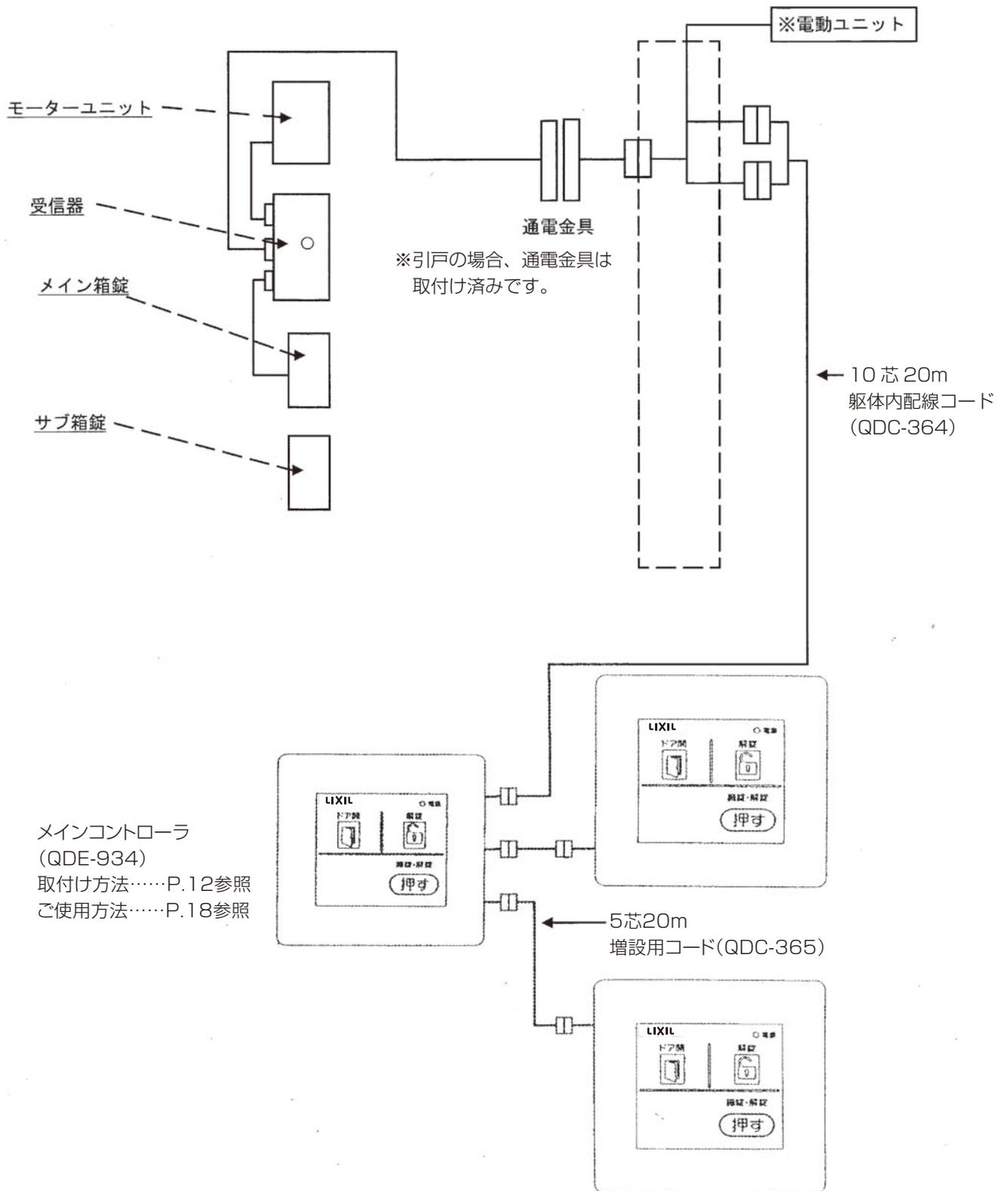
メインコントローラ
(QDE-934)
取付け方法……P.12参照
ご使用方法……P.18参照



増設スイッチ(オプション)
(QDC-363)
取付け方法……P.14参照
ご使用方法……P.20参照

2

玄関引戸の場合



※電動引戸の場合のみ
電動ユニットの接続は寺岡オートドア(株)にて責任施工となります。

増設スイッチ(オプション) (QDC-363)
取付け方法……P.14参照
ご使用方法……P.20参照

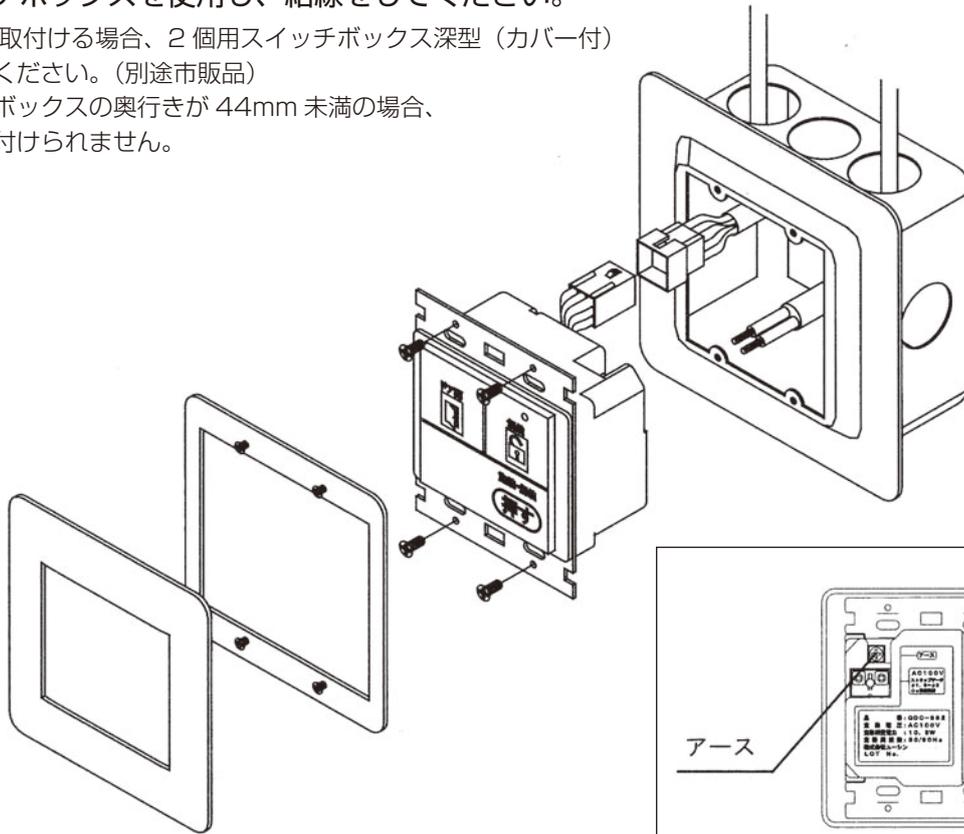
取付け方法

1

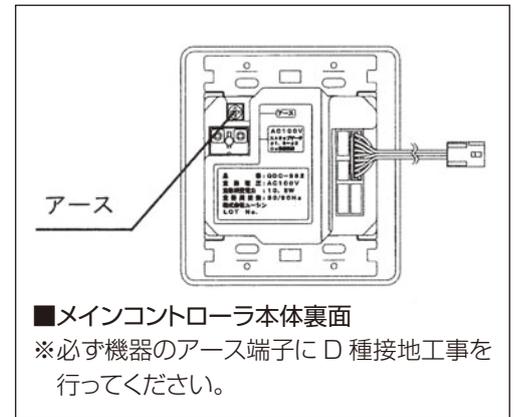
メインコントローラ

■スイッチボックスを使用し、結線をしてください。

- 本機 1 個取付ける場合、2 個用スイッチボックス深型（カバー付）をご使用ください。（別途市販品）
- ※スイッチボックスの奥行きが 44mm 未満の場合、本機は取付けられません。



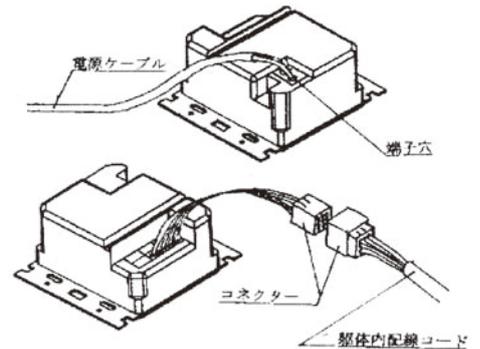
アース（D 種接地）工事がされていない場合、外部からの過電圧で機器が破損したり、外部および機器間のノイズにより誤作動の原因となります。



●ケーブルの接続

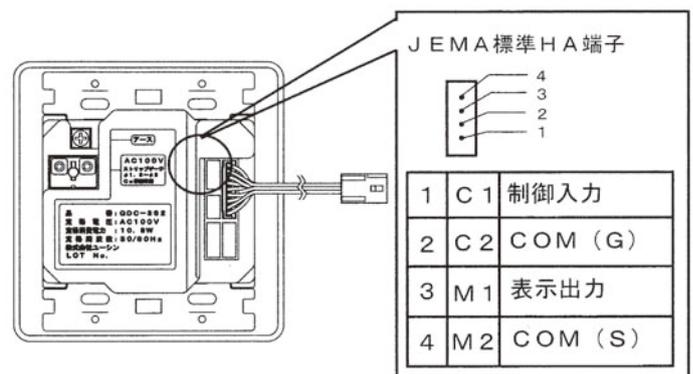
- ・電源ケーブルをストリップゲージに合わせて皮むきします。メインコントローラ本体裏側の端子穴に電源ケーブルを結線します。
- ・躯体内配線コードのコネクタをメインコントローラ本体から出ているコネクタに接続します。この場合、コネクタについている突起がきちんと入るまで押し込んでください。

- ※余分な躯体内配線コードは壁内できちんと固定してください。
- ※躯体内配線コードの長さが足りない場合、20m の延長コードを用意しております。



■ JEMA 標準 HA 端子について

- 他社の HA 機器と接続する場合は JEMA 標準 HA 端子を使用してください。ただし、コネクタは他社 HA 機器に付属されている物をご使用ください。



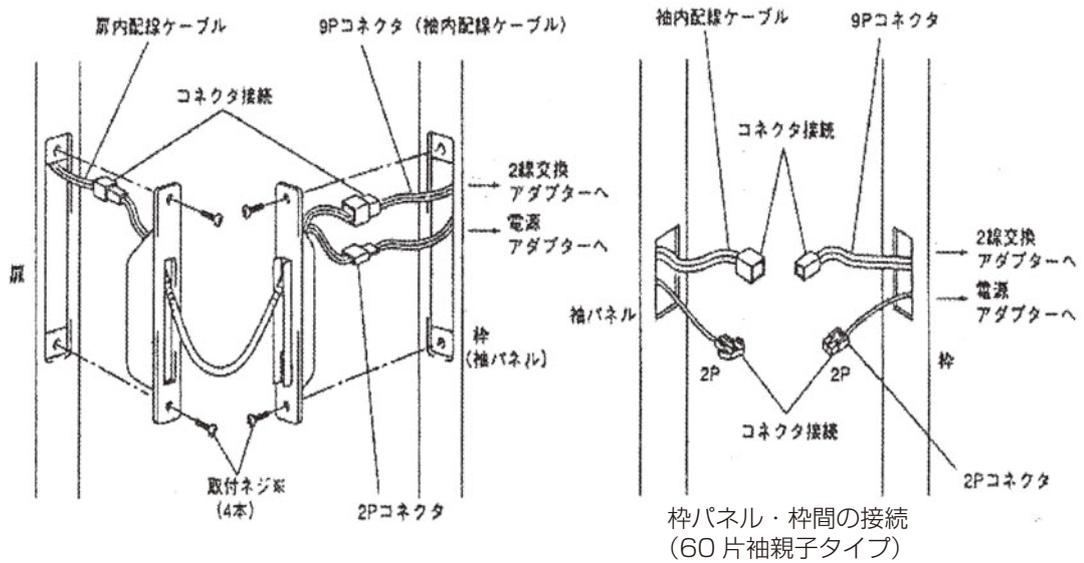
2

通電金具（玄関ドアの場合のみ）

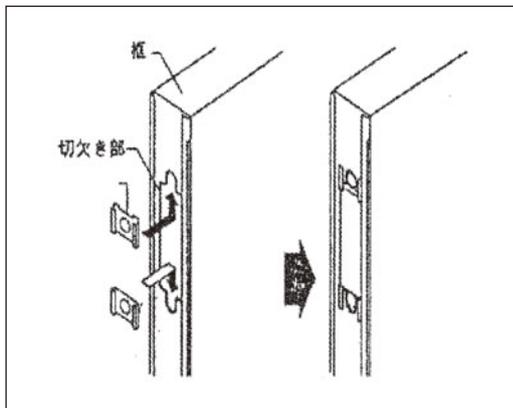
※玄関引戸の場合、通電金具は枠障子に取付け済です。

●扉から出ている扉内配線ケーブルのコネクタと、扉側通電金具のコネクタを接続し、ケーブルを扉の中へ押し込んで、通電金具を取付けねじ2本で扉に取付けてください。同様に縦枠（袖パネル）内のコネクタと、枠側の通電金具のコネクタを接続し、枠（袖パネル）に通電金具を取付けてください。

※60片袖親子タイプの際は、扉・袖パネル間のみ通電金具の接続となり、袖パネル、枠間の接続には使いません。袖パネルから出ているケーブルのコネクタと枠内のコネクタを接続し、ケーブルを枠内に押し込んでから、袖パネルを枠に取付けてください。

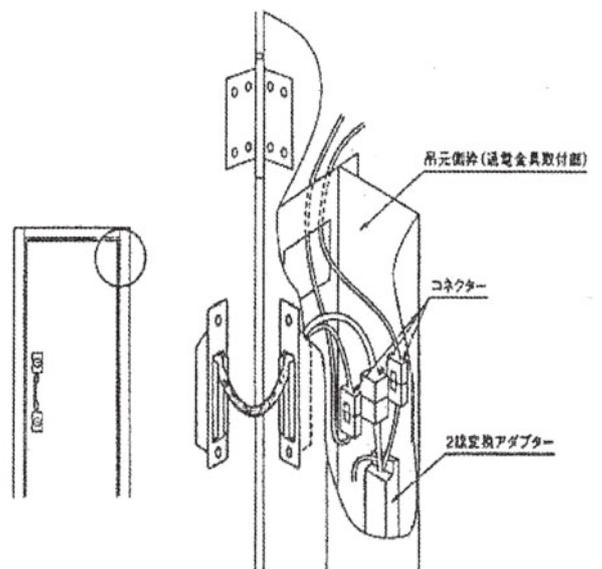


●通電金具に裏板が同梱されている商品は、裏板を下記の要領で取付けてください。



▲ 注意

●メンテナンスの時、2線変換アダプタやコネクタを引き出せるように、結線は下図のように枠材の内部で行ってください。

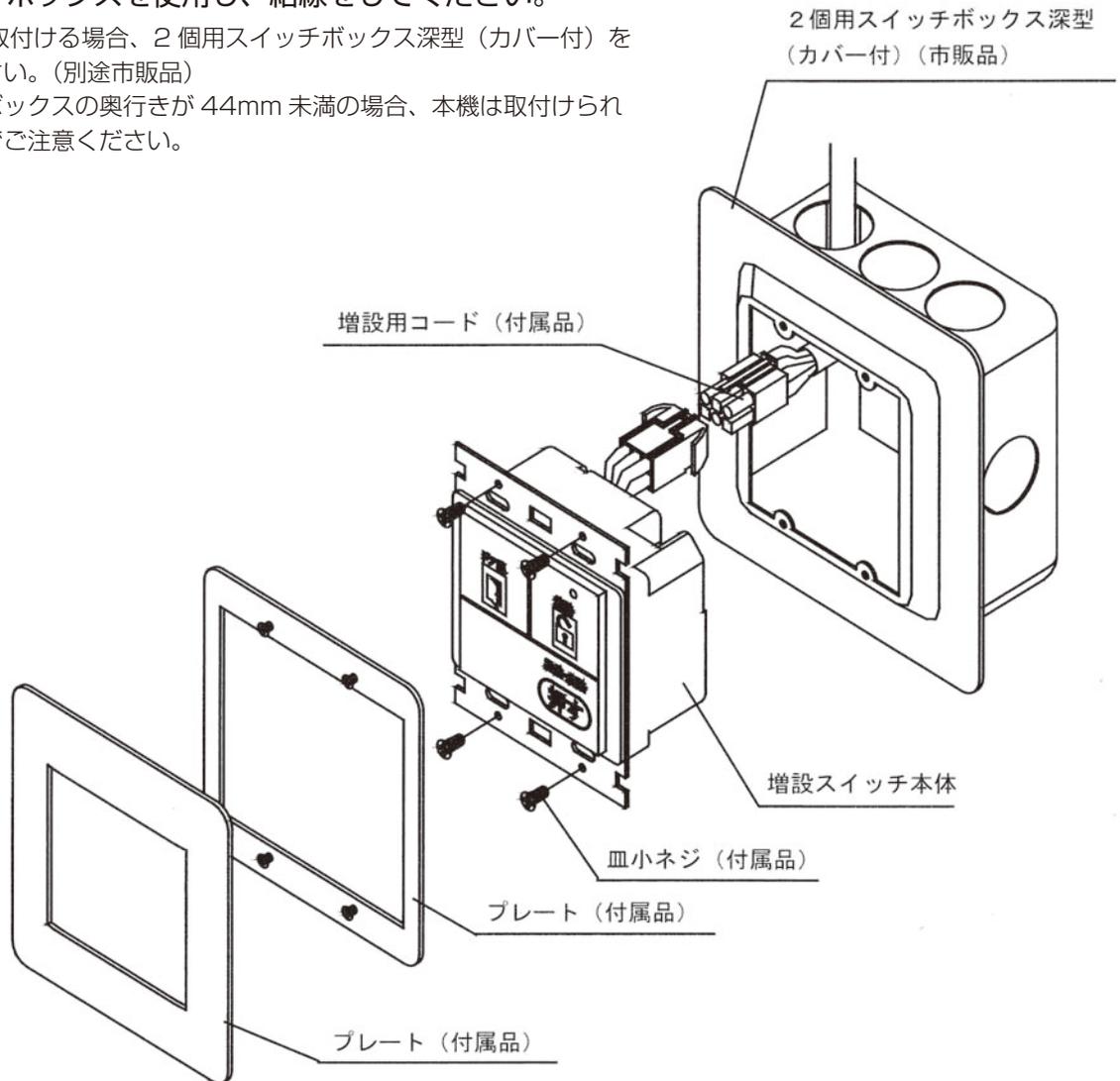


3

増設部品 (オプション部品)

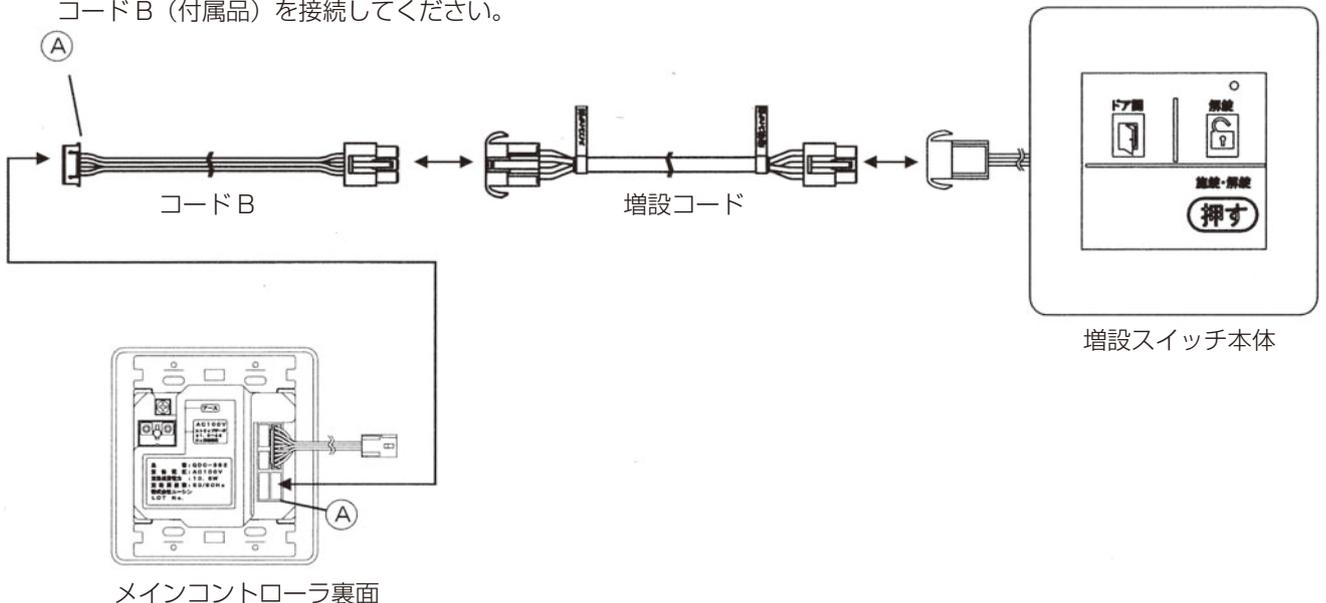
■スイッチボックスを使用し、結線をしてください。

- 本機 1 個取付ける場合、2 個用スイッチボックス深型 (カバー付) をご使用ください。(別途市販品)
- ※スイッチボックスの奥行きが 44mm 未満の場合、本機は取付けられませんのでご注意ください。



●ケーブルの接続

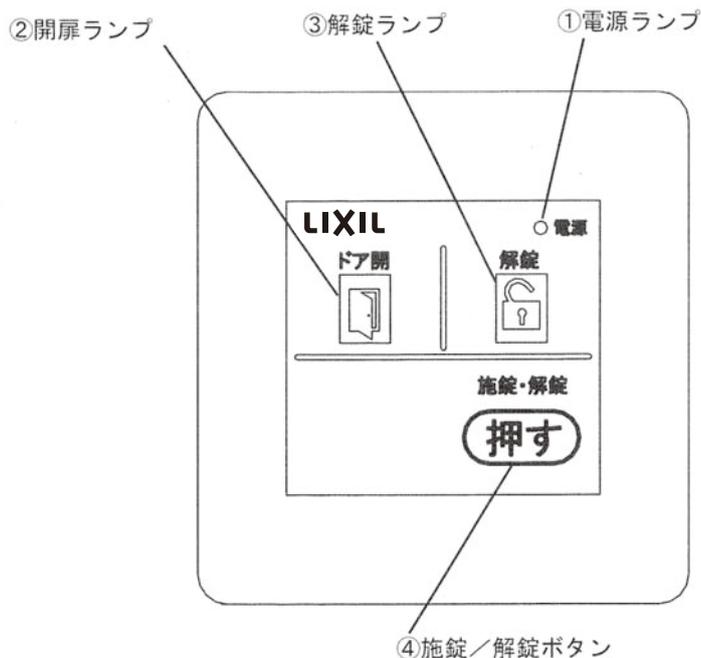
- ・下図のように増設スイッチとメインコントローラの間、増設用コード (付属品)・コード B (付属品) を接続してください。



施工後の確認

1

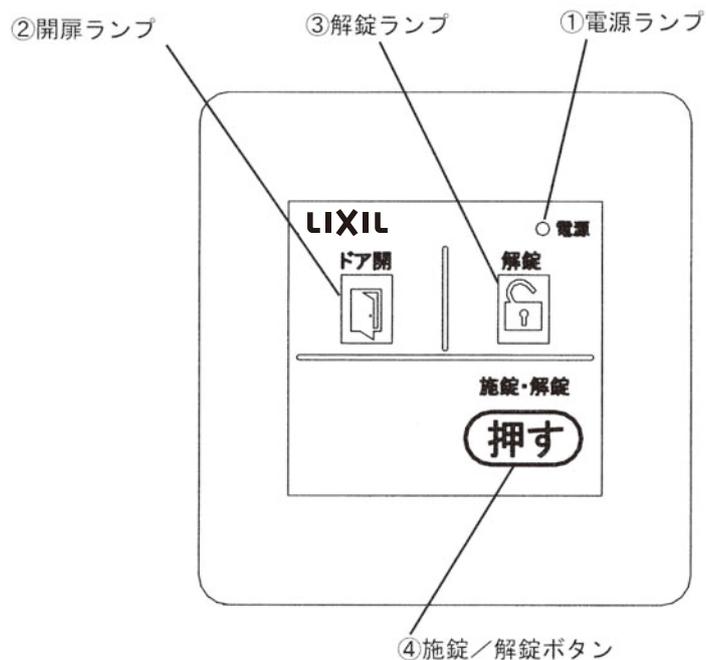
メインコントローラ



メインコントローラ

	名称	操作・表示
①	電源ランプ	電源が入っている時に点灯します。
②	開扉ランプ	扉が開いている時に点灯します。
③	解錠ランプ	扉が解錠されている時に点灯します。
④	施錠／解錠ボタン	扉を施錠・解錠する時に押します。

※開扉ランプが点灯している場合は、施錠／解錠の操作はできません。



増設スイッチ

	名 称	操 作・表 示
①	電源ランプ	電源が入っている時に点灯します。
②	開扉ランプ	扉が開いている時に点灯します。
③	解錠ランプ	扉が解錠されている時に点灯します。
④	施錠／解錠ボタン	扉を施錠・解錠する時に押します。

※開扉ランプが点灯している場合は、施錠／解錠の操作はできません。

作動の確認

1

メインコントローラからの操作

A. 解錠ボタンによる操作

操作手順	操作前	施解錠ボタンを押す 施錠・解錠 押す	扉を開ける ※電動引戸の場合 自動開扉	扉を閉める ※電動引戸の場合 自動閉扉
表示の 状態	 	解錠ランプ (赤色で点灯)  	ドア開ランプ・解錠ランプ (赤色で点灯)  	ドア開ランプ・ 解錠ランプ消灯  
電気錠の 状態	施錠	解錠	解錠	扉を閉めると自動的に施錠

- メインロック・サブロックは連動して作動しますが、解錠ランプはメインロックの状態を表示しているため、手動で操作した場合、サブロックが施錠状態でも解錠ランプが点灯します。
- 解錠操作をして30秒以上扉を開け放したとき→『ピー』という警告音が扉を閉めるまで鳴り続けます。

B. 手動で解錠したときの施錠操作

操作手順	操作前	施解錠ボタンを押す 施錠・解錠 押す
表示の 状態	解錠ランプ (赤色で点灯)  	解錠ランプ消灯  
電気錠の 状態	解錠	施錠

停電になったときの状態

- 電源ランプが消灯します。
- リモコン操作による施錠／解錠はできません。キーまたはサムターンで操作してください。
- キーまたはサムターンで操作するまでは、電気錠は停電前のままです。
- 電源が復帰してもドアの状態は停電前のままです。

C. 警報機能について

メインコントローラから警告音が鳴る場合は以下の原因が考えられます。

①メインコントローラで解錠し、扉を 30 秒以上開け放した場合

- 『ピー』という警告音が鳴る → 扉を最後まで閉めてください。

②メインロックが施錠できない場合

- 枠と扉の間に異物（小石等）がはさまって
扉が最後まで閉まらない → 異物を取除いてから
扉を最後まで閉めてください。
- ストライクの穴に異物が入っている → 異物を取除いてから
扉を最後まで閉めてください。
- 枠・扉の取付け（建付け）の不具合で
扉が最後まで閉まらない → 最寄りの LIXIL の
営業所にお問い合わせください。
- ストライクの取付け位置が正しくない → 最寄りの LIXIL の
営業所にお問い合わせください。

このような状態で遠隔操作をしようとするとき、『ピー』という警告音が鳴ります。

警告音の止め方

施錠ボタンを押せば、警告音は鳴り止みます。

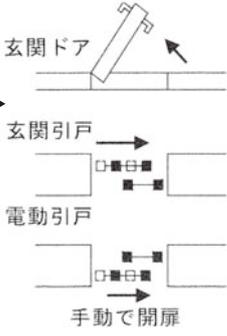
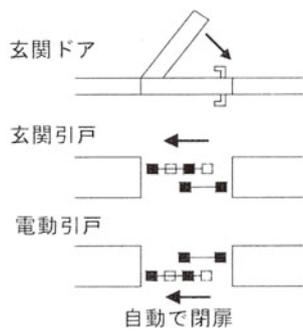
施錠・解錠

押す

2

手動の解錠と扉の開閉操作

サムターンからの操作

操作手順	操作前	鍵、サムターンで 電気錠を解錠する	扉を開ける 	扉を閉める 
	電気錠の 状態	施錠	解錠	解錠のまま

- 再び施錠するには鍵・サムターンを回してください。（リモコンキー・メインコントローラでも施錠できます）
- 鍵・サムターンで解錠すると、扉を閉めても自動施錠されず、解錠のままとなります。

3

増設スイッチの操作

A. 解錠ボタンによる操作

操作手順	操作前	施解錠ボタンを押す 施錠・解錠 押す	扉を開ける ※電動引戸の場合 自動開扉	扉を閉める ※電動引戸の場合 自動閉扉
表示の 状態	 	解錠ランプ (赤色で点灯)  	ドア開ランプ・解錠ランプ (赤色で点灯)  	ドア開ランプ・ 解錠ランプ消灯  
電気錠の 状態	施錠	解錠	解錠	扉を閉めると自動的に施錠

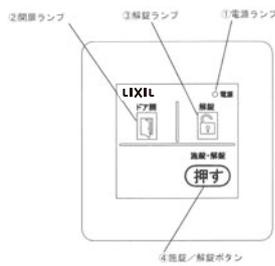
- メインロック・サブロックは連動して作動しますが、解錠ランプはメインロックの状態を表示しているため、手動で操作した場合、サブロックが施錠状態でも解錠ランプが点灯します。
- 解錠操作をして30秒以上扉を開け放したとき→『ピー』という警告音が扉を閉めるまで鳴り続けます。

B. 手動で解錠したときの施錠操作

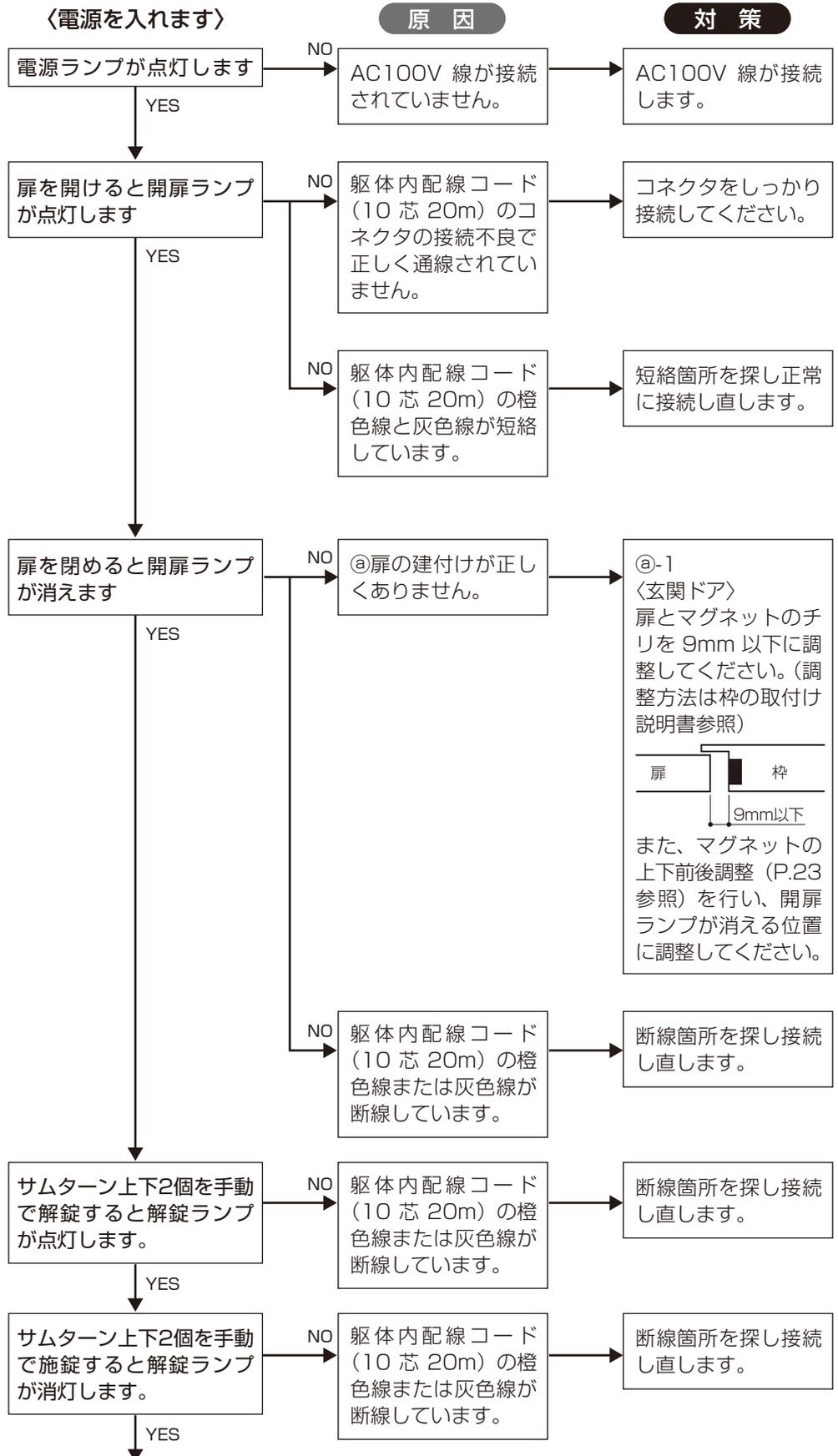
操作手順	操作前	施解錠ボタンを押す 施錠・解錠 押す
表示の 状態	解錠ランプ (赤色で点灯)  	解錠ランプ消灯  
電気錠の 状態	解錠	施錠

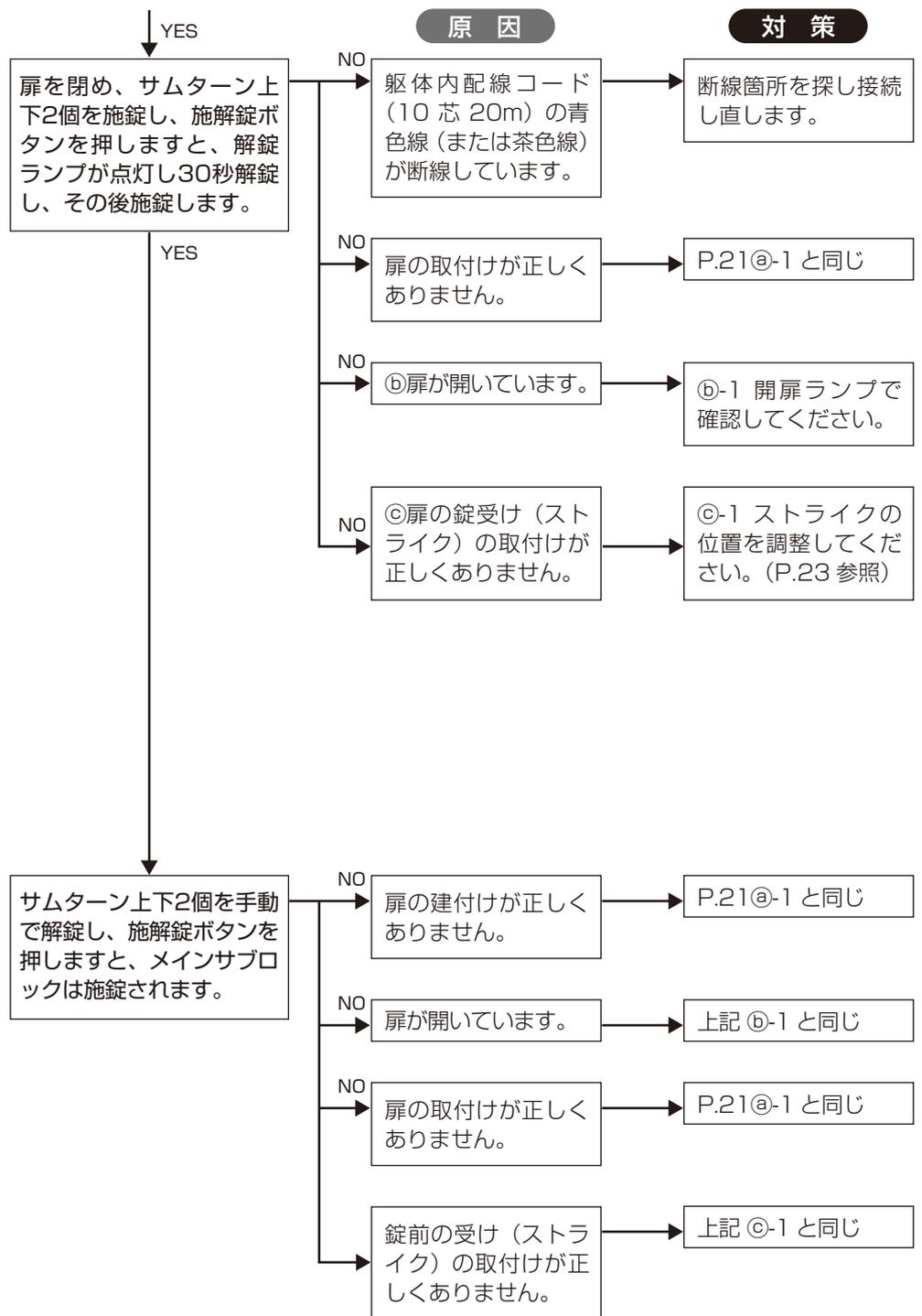
こんな場合には

メインコントローラ：動作確認の前に本体の建付け調整および錠前受け（ストライク）の調整（P.23 参照）を行い、手動にてロックの施錠確認を行ってください。



- ① 電源ランプ
- ② 開扉ランプ
- ③ 解錠ランプ
- ④ 施錠・解錠ボタン





調整方法

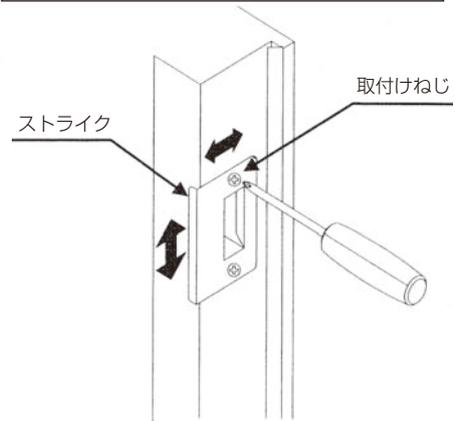
1

ストライク調整方法

●玄関ドアの場合

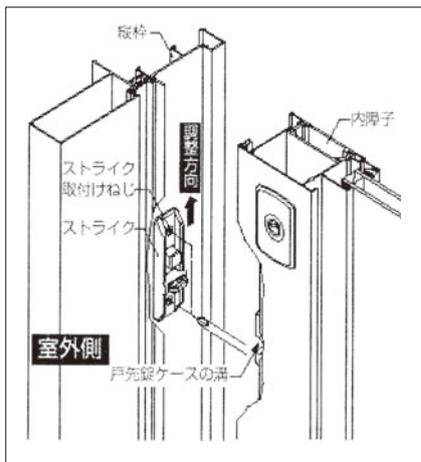
- 取付けねじをゆるめて上下前後に調整した後、ねじをしめ固定してください。
- ※詳しい調整方法は枠の取付け説明書を参照してください。

※取付けねじは外さないでください。



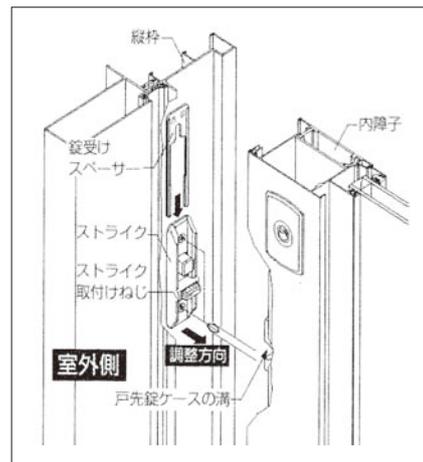
●玄関引戸の場合

- 上方向の調整
ねじをゆるめ、ストライクを上方向に調整してください。



- 出方向の調整

- ねじをゆるめ、錠受けスペーサー（厚さ1mm、枠同梱）を枠とストライクの間に差込んでください。



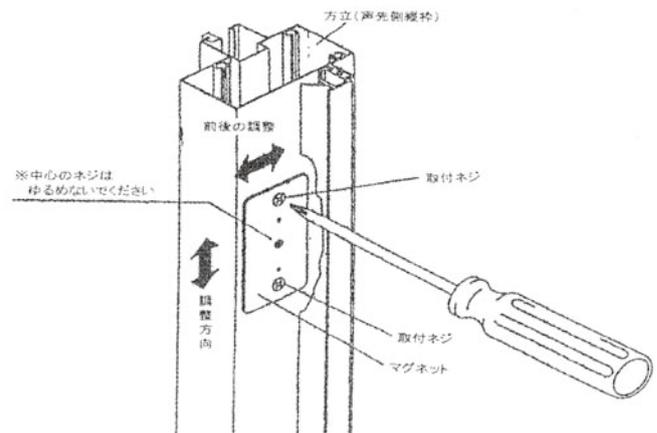
※詳しい調整方法は枠の取付け説明書を参照してください。

2

マグネット調整方法

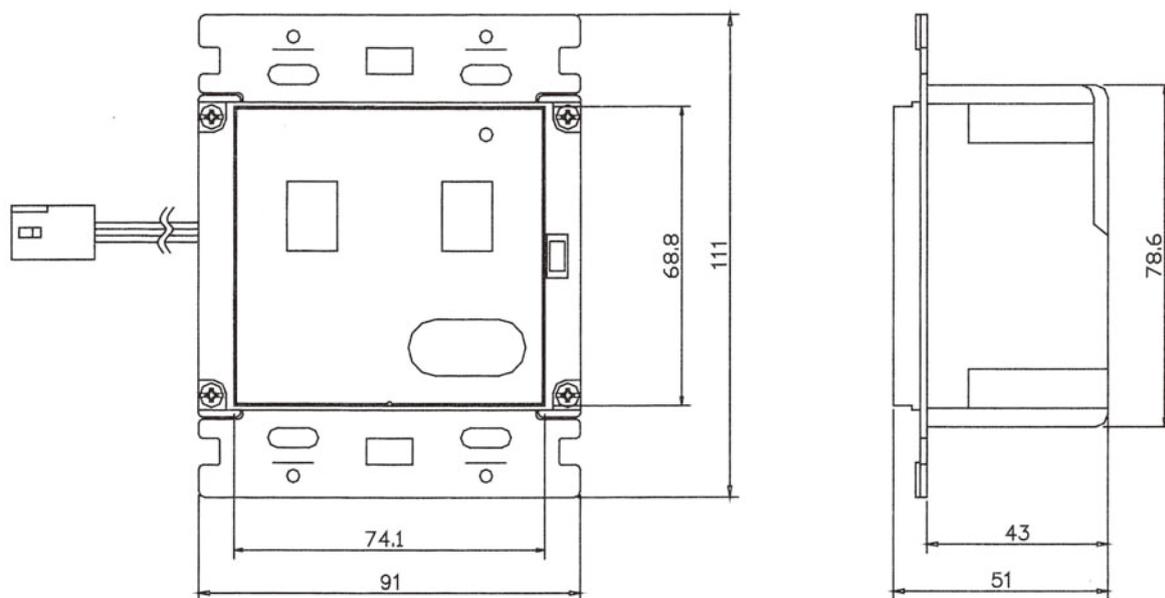
玄関ドアの場合のみ（玄関引戸にはありません）

- 取付けねじをゆるめて上下前後に調整した後、ねじをしめ固定してください。

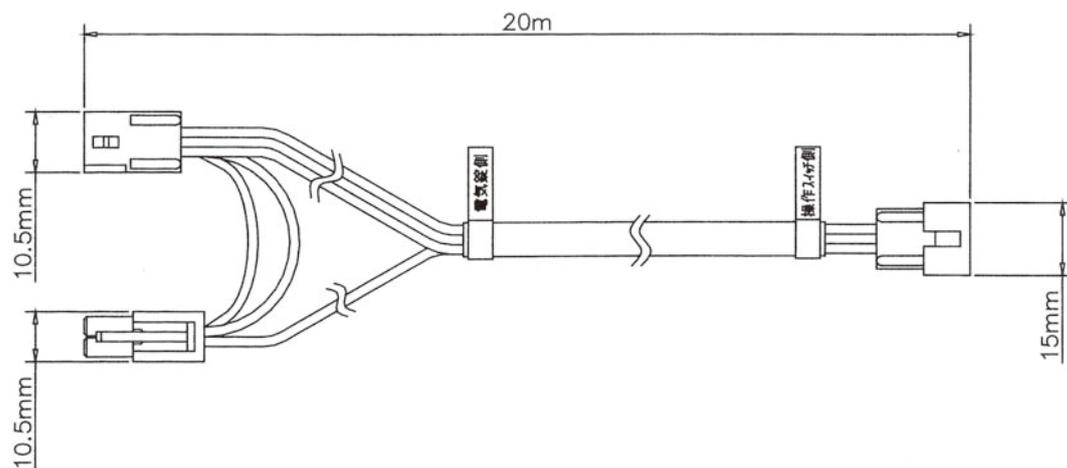


外觀寸法図

メインコントローラ

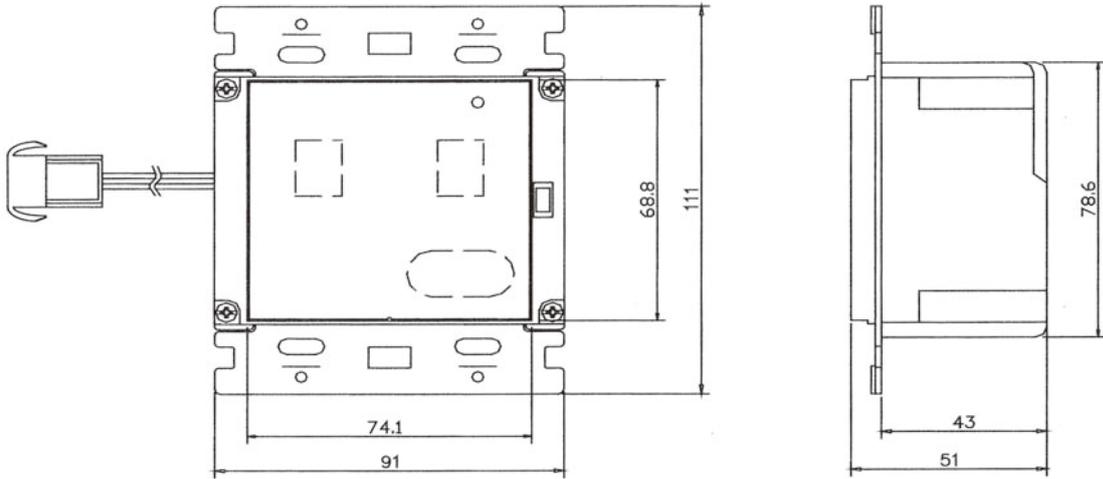


躯体内配線コード

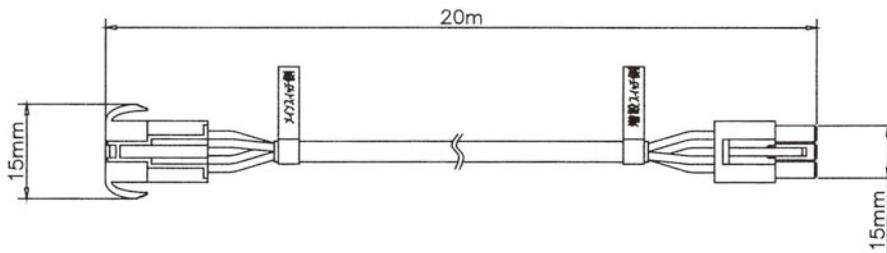


増設スイッチセット (オプション部品)

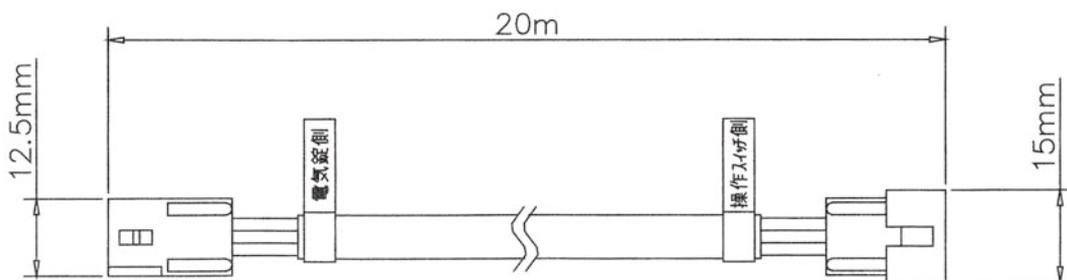
●増設スイッチ



●増設コード



延長コード (オプション部品)



定格

1

メインコントローラ (QDE-934)

- 電源電圧：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：10.8W (最大)
- 配線数・通達距離：メインコントローラ — 電気錠 10線 0.3mm線で40mまで
：メインコントローラ — 増設スイッチ 5線 0.3mm線で40mまで
- 色調：本体 ミルキーホワイト
- 使用周囲温度範囲：-10℃~50℃
- 使用周囲湿度範囲：20~90%RH
- 使用範囲：一般家庭

2

電気錠リモコン受信器

仕様

名称	定格	
電源	電圧 DC12V	電源容量 0.5A 以上
モーター駆動信号	電圧 DC24V	電流 10mA
メイン錠解錠信号	電圧 DC24V	電流 100mA (max)
メイン錠施錠信号		
扉開閉信号		
リード線	L = 200m/m コネクタ付 AWG - 22 UL1007 耐熱ビニール電線	

3

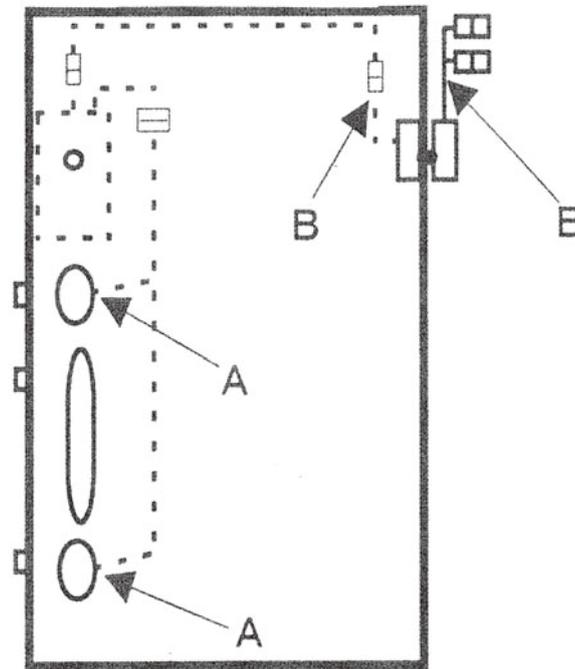
増設スイッチ (QDC-363)

- 色調：ミルキーホワイト
- 使用周囲温度範囲：-10℃~50℃
- 使用周囲湿度範囲：20~90%RH
- 使用範囲：一般家庭

配線色別信号内容

1

玄関ドアの場合



●A部(電動サムターン取付け部の信号)

	青	モーター (+時施錠)
	茶	モーター (+時解錠)
	黄	解錠信号 (解錠時 ON)
	黒	施解錠信号用 GND
	赤	施錠信号 (施錠時 ON)

※メインロック、サブロックとも同じ信号です。

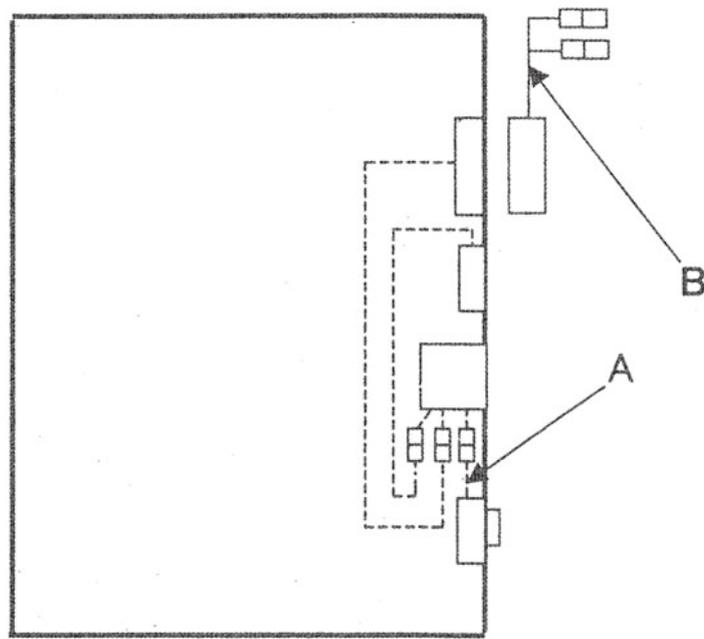
●B部(通電金具部の信号)

	灰	電源 (+ 12V)
	緑	電源用 GND
	青	モーター (+時施錠)
	茶	モーター (+時解錠)
	黄	解錠信号 (解錠時 ON)
	黒	施解錠信号用 GND
	赤	施錠信号 (施錠時 ON)
	白	扉開閉信号 (閉時 ON)
	橙	扉開閉信号用 GND
	紫	空き

※枠側、扉側とも同じ信号です。

2

玄関引戸の場合



●A部(受信器各配線信号)

☐端子[ジャンクションSW取付け用]



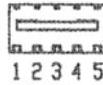
モレックス:5046-04A

コネクタ端子配列

No	接続先	線色
1	ユニット電源用+12V	灰
2	ジャンクション入力	桃
3	ジャンクション出力	紫
4	ユニット電源用GND	緑

簡易リモコンは空き

☐端子[モーターユニット取付け用]

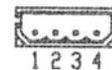


モレックス:5046-05A

コネクタ端子配列

No	接続先	線色
1	GND	黒
2	ポジションBSW	灰
3	ポジションASW	緑
4	モーター (-)	茶
5	モーター (+)	青

☐端子[戸先鍵取付け用]



モレックス:5268-04A

コネクタ端子配列

No	接続先	線色
1	施錠SW	赤
2	解錠SW	黄
3	GND	橙
4	ドアSW	白

●B部(通電金具部の信号)

	灰	電源 (+12V)
	緑	電源用 GND
	青	モーター (+時施錠)
	茶	モーター (+時解錠)
	黄	解錠信号 (解錠時 ON)
	黒	施解錠信号用 GND
	赤	施錠信号 (施錠時 ON)
	白	扉開閉信号 (閉時 ON)
	橙	扉開閉信号用 GND
	紫	空き

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAH-575B	事業所コード AXU6	2023.3.31発行
---------------	-------------	-------------

